



ふぞくの風

先導的・先進的な研究とは・・・

副校長 池浦 也寸志

本校の使命の一つに県下小学校教育に対する先導的な研究を進めることがあります。これまで入学説明会等では、情報端末機器(来年度からメタバース、仮想空間を使った授業)を使った事例や体験活動等について説明してきましたが、実際、どのような研究をしているのか説明する機会が少なかったと思います。(21年度、11月学校だよりで説明)そこで、今回は、簡単ではありますが、もう一度、現在進めている教育研究について概略を説明させていただきます。

本校は、国立の小学校ですから、国の小学校教育の基準を示す学習指導要領に基づき、今後の社会情勢等を踏まえながら研究課題が設定されていきます。今後の社会を見通すと先行きが不透明で、現在ある仕事の半分は、コンピュータ等にとって変わられる時代だと考えられています。そのような目まぐるしく変化していく社会の中で、自分のこれまでの知識や経験から直面する課題に対して最適な解決方法を駆使していくことが必要となります。これまで、入試や公務員試験などは、どれだけの知識(量)をもっているのか問われてきました。しかし、これからの社会においては、どれだけ知識を持っているのかだけでは解決できない問題が山積しています。つまり、答えのない時代に自分なりの最適解をもつことが求められています。

りそな銀行のシステム障害もこれまでの3行(第一勧銀等)のシステムを統合したためにシステム障害が続き、今後、莫大な資金を投じて新しいシステム開発をしていく必要があります。困難な状況に直面した際、しまってあった考えの中での結び付きを少し変えるだけで解決のヒントを得ることがあります。例えば、ベルトコンベアーに流れてくる商品を見て、商品を寿司に変えてみたらと思いついたことで、現在の回転ずしが発明されたと言われます。ビジネスの分野でも商品開発やマーケティング等において知識と知識の結び付きを変えたり、新しい結びつきを構築したりしていくことにつながる手法に関するセミナーが開かれ、盛況だそうです。

現在の研究は、これからの社会を生き抜いていくために必要とされる知識と知識の結び付きを変えたり、他の事象に応用したりするその術を授業で疑似体験させていくことで、身に付けさせようとしています。その過程で、物事を順序良く整理して説明できる力(論理的思考力)や物事を吟味する目(上位概念)を養っていくことを期待して研究しています。その際、情報機器などは、知識と知識の結び付きの様子を図や絵として示したり、結びつきを変えていく際の過程を追ったりしていく際のツールとして有効であると考えています。さらに、実際の生活場面に近付けたり、自分の最も関心のあることに学習内容を特化したりすることで、よりリアリティのある授業を提供するため、メタバース(仮想空間)を取り入れた学習を来年度から実施していきます。また、昨年度より「探究」という新しい総合的な学習の時間を設定しました。「探究」の時間においては、担任や教室、時間等のこれまでの規制の枠をあえて取り払うことで、教科等で培われた力をよりダイナミックに活用していく子どもの姿が現れることが期待されます。

このように時代の要請に対して有効だと考えられる研究も子どもの姿となって現すことができなければ、「絵に描いた餅」と言われても仕方ありません。授業参観される際には、黒板や子どもたちが使っているタブレットの画面などもご覧ください。そこには、研究として培いたい知識と知識の結び付きの様子やその結び付きがどのように変化していくのかといった研究の過程が現れています。



自己有用感を高める教育活動の推進 ～「美しさ」をキーワードとして～

心を一つに 感動を届ける歌声や演奏 ～校内音楽発表会～

2月17日(金)は、校内音楽発表会でした。新型コロナウイルス感染症の流行が落ち着いてきていることを鑑み、今年度は4年ぶりに市内のホールでの開催となりました。

子どもたちは、音楽発表会のスローガンである「心を一つに 感動あふれる 美しい附属ハーモニー」のもと、学級や学年で音楽の時間や朝の会等で練習を積み重ねてきました。本番では、全校児童、保護者、職員が見つめる中、聴く人に感動を届けようと学級や学年の仲間と心を一つにして合唱や演奏を披露する姿が見られました。音楽発表会後のあしあとには、下のような感想が綴られていました。



今年の音楽発表会は、言葉に表すことができないほどの感動を味わうことができました。1年生からは「かわいらしさ」、6年生からは「美しさ」「立派さ」を感じ、涙を流している友達もいました。(中略)音楽発表会のわたしたちの演奏は、転校した友達にもきっと届いていたと思います。

この感想から、音楽発表会の練習や本番を通して、子どもたちは学級や学年の仲間達と協力して合唱したり、演奏したりすることで、人を喜ばせたり、感動させたりすることができることを実感できたことが分かります。また、転校してしまった友達との学校生活の日々に思いを馳せながら、その友達に思いを届けようと演奏していた姿に心を打たれます。

今年度は、残り1か月となりましたが、学校行事や何気ない言動に「美しさ」を感じる場面が多く見られるようになりました。この一年間で見られた「美しさ」やそれを周りの人・もの・ことへと広げようとする姿を振り返るとともに、大いに価値付けながら子どもたちの自己有用感をさらに高めていきたいと考えます。

附属小のネクストリーダーとして ～縦割り通子会での5年生の活躍～

2月13日(月)、縦割り通子会が行われました。次年度への引き継ぎを考えて、5年生を中心に活動が行われており、話し合い活動の進行や板書を行うなど5年生が責任をもって取り組む姿が見られました。進行を行っていた子どもに感想を聞くと「少し、緊張したけれど、6年生がやっていたように進めることができました。」と手ごたえを感じているようでした。



【中心になって話し合いを進行する5年生の姿】

この縦割り通子会のように、残りわずかとなった後期後半は、6年生を送る会や卒業式の準備など5年生が6年生に代わって附属小学校を引っ張っていく活動が多く位置付けられています。わたしたちは、これらの活動の中で、5年生の役割や責任を意識した姿を価値付けていながら、附属小学校のネクストリーダーとして資質を培ったり、自覚を促したりしていきたいと考えます。

【3月の主な行事】

- | | |
|--------------------------------|--------------------------------|
| 1日(水) 学年・学級PTA(高)
6年図書返却完了日 | 10日(金) 防災について考える日 |
| 2日(木) 学年・学級PTA(中) | 14日(火) 6年生を送る会 |
| 3日(金) 学年・学級PTA(低) | 17日(金) 卒業式(1～4年生は休み) |
| 6日(月) 1～5年図書貸出最終日
卒業式予行 | 24日(金) 修了式・辞任式
春季休業～4月5日(水) |
| 9日(木) 1～5年図書返却完了日 | |

※ 鹿児島市内の新型コロナウイルス感染症の感染状況によって行事の中止・変更の可能性がございます。